

一緒に活動を楽しむ仲間を募集中
みんなとやろう自分色彩る

生涯活動 No.13

市内で活発に行われているスポーツ活動や文化活動。このコーナーでは、市の体育協会や文化協会に加入して仲間を募集している団体を紹介しています。団体によっては見学会や体験入団もあります。興味がある人は各団体へ直接お問い合わせください。

バドミントン badminton

ウイングバードバドミントンクラブ

- 部員 27人
 - 練習日時 ▷毎週火、木曜=午後6時~8時30分
▷毎週土曜=午後6時~9時
 - 会場 三橋体育センター
 - 対象 小学生の男女
 - 会費 月1500円(低学年)、月2000円(高学年)
 - 主な大会 7月=小学生夏季大会(筑後地区予選)、1月=選抜大会(筑後地区予選)
- 【問】代表の石井さん
(右のQRからお問い合わせ)



キャプテンから一言

諸林心菜さん(12歳)

私がバドミントンを始めたきっかけはテレビで山口茜選手のプレーを見てかっこいいと思ったからです。バドミントンを通して周りの人への感謝の気持ちや、あいさつの大切さを学ぶことができました。

三橋謡曲部だらだら会

- 会員 6人
 - 活動日時 ▷毎週月曜=午前10時~正午、午後7時30分~9時▷毎週水、木、金、土曜=午後7時~9時
 - 活動場所 喜扇館(三橋町柳河448)。月曜午後は藤吉コミュニティセンター
 - 対象 謡曲や仕舞に興味がある人(年齢性別不問)
 - 会費 月3000円
 - 主なイベント 7月=文化協会謡曲部「謡・仕舞の会」、10月=水都柳川能(スタッフ)
- 【問】代表の後藤さん(☎080・1743・4831)

能

nou

代表から一言

後藤猛さん

能の公演をしたり、市内の学校で能のワークショップなどを開催して次世代に能楽を広めようと活動しています。初心者でも大歓迎です。一緒に稽古を楽しんでみませんか。



ひとを結ぶ。まちを結ぶ。 column No.112 地域おこし協力隊

大都市圏から地方へ人の流れを作るプログラムで、将来の定住を目指しながら、地方の活性化への貢献を目指す「地域おこし協力隊」。市で活動する5人の隊員たちの活動を紹介します。
【問】市商工・ブランド振興課(☎77・8722)



リポーターの大川紫磨さん(右)とテレビで商品をPR



店内ではお客さんがどこから来たかなどを調査中



KBCふるさとWishでからたちスペースを発信

昨年12月に放送されたKBCふるさとWishで柳川市が取り上げられました。私もテレビ中継に出演し、柳川駅西口に昨年12月から本格的にオープンした店舗「からたちスペース」を紹介。のり、みそなど柳川の魅力的な商品や、あまおうラーメンなど珍しい商品、青パイナップルバナナスムージーなど新しく開発したカフェメニューをPRしました。すると後日、「番組を見た」という人が市内外から何人も訪れ、テレビの影響力の大きさを実感しました。西鉄柳川駅を拠点に新しいにぎわいを作るため、3月までの短い期間ですがイベントなども開催していきますので、ぜひお越しください。



吉原 彩里(24歳)

【プロフィール】市商工・ブランド振興課に所属。地域資源の発掘や収益強化事業を担当



堤 康二郎(24歳)

【プロフィール】市観光課に所属。観光プラットフォーム構築を担当

さまざまな地域の人を訪れる店舗を目指して

昨年12月から本格的にオープンし、多くの人を訪れている店舗「からたちスペース」。店内ではお客さんがどこから来たかなどを調査を実施しています。約200人から回答を得たところ、内訳は市内の人が50%、市外の人が50%だと分かりました。また、市外からは国内だと県内や関東地方、国外だと台湾や香港からの観光客が多いという結果に。とはいえ、からたちスペースを事前に知らずに、偶然立ち寄った人が多く、周知に課題を感じました。今後はより多くの地域から来ていただけるよう、地域おこし協力隊のInstagramなどでこれまで以上にからたちスペースの情報発信を強化していくので、ぜひのぞいてみてください。

柳川観光大使 大淵盛人九段の囲碁入門

とある日、木材の展示館をのぞくとおひな様の隣に「囲碁」が置いてありました。碁盤は桂の木、碁笥(碁石の器)は栗の木で作られています。碁石が「アタリ」の形で展示されていました。係員さんグッジョブです。



編集後記。最近電子マネーを使う機会が増えた。特に自販機で飲み物を買う際は、現金より支払いが楽だ。ある日、小銭が必要になり、自販機で何か買ってお金を崩そうと思った。しかし、ついいつもの癖で電子マネーで買ってしまった。しばし葛藤したが、諦めてもう1本現金で買った。(義浩)